



概要

GPD-2900 は、MS-DOS, PC DOS 上のアプリケーションから、弊社デジタル入出力多点モジュールの制御を行うためのソフトウェアです。

特長

- サンプルングと 1 件入力を行うことができます。
- トリガ条件として、ソフトトリガ/外部トリガ/内部トリガ/パターン一致トリガ/外部同期トリガを選択できます。
- トリガディレイ機能をもっていますので、事象発生の前後や、事象発生から指定時間経過後のデータを捉えることができます。
- 外部同期機能を使用することで複数の多点モジュール間で同期してサンプルングを行うことが可能です。
- 内部同期機能を使用することで、DO 連続出力機能やカウンタ一致検出機能と同期してサンプルングを行うことが可能です。
- 各種割り込みの発生時に発生するコールバック関数を登録できます。
- 各種言語に対応したサンプルプログラムを用意しており、一件入力やサンプルング機能を使用する際の基本的な手順の実行例を参照いただけます。
- 機能や使い方を説明するヘルプを用意していますので、開発中に関数の詳細説明等、簡単に参照することができます。

デジタル出力部

- 連続出力機能と 1 件出力機能を行うことができます。
- 指定したバッファデータの連続出力を繰り返し行うことができます。
- トリガ機能を備えていますので、トリガ発生と同時にデジタル出力を開始または終了することができます。
- 外部同期機能を使用することで複数の多点モジュール間で同期して連続出力を行うことが可能です。
- 内部同期機能を使用することで、DI サンプルング機能やカウンタ一致検出機能と同期して連続出力を行うことが可能です。
- 各種割り込みの発生時に発生するコールバック関数を登録できます。
- 各種言語に対応したサンプルプログラムを用意しており、一件出力機能や連続出力機能を使用する際の基本的な手順の実行例を参照いただけます。
- 機能や使い方を説明するヘルプを用意していますので、開発中に関数の詳細説明等、簡単に参照することができます。

万能カウンタ部

- 機能モードを切り替えることで、パルスカウンタ、平均周波数測定、周期測定、位相差幅測定、タイマ、分周器、パルスジェネレータとして各チャンネルを使用することが可能です。
- エンコーダからのパルスカウンタに対応しています。
- ラッチしたカウンタ値と入力端子状態を、取得可能です。
- 豊富な割り込み機能を搭載しており、割り込み発生時にはコールバックを発生させることが可能です。
- 機能や使い方を説明するヘルプを用意していますので、開発中に関数の詳細説明等、簡単に参照することができます。

対応 OS

Interface DOS System(ネットワークモデル)
Interface DOS System(日本語環境モデル)

対応言語

Turbo C Ver. 2.0(英語版)
Turbo C++ Ver. 4.0
Borland C++ Ver. 5.0
Microsoft C Ver. 6.0
Microsoft C/C++ Ver. 7.0, 8.0
Open Watcom C/C++ Ver. 1.5, 1.6

注意事項

—
